

No.	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	<p>現在、市が所有し、維持、管理している施設の多さに大変驚いています。このような施設の老朽化、又、人口減少による、利用率の低下、財政確保等を考えると市長はじめ市職員の方々のご苦労は大変多かろうと思います。今の状況で次世代への引継ぎはしてはならないと思います。このような状況を打破するためには、思い切った方策が必要だと思っています。</p> <p>又、現在の状況を、もっともっと市民の方々に知ってもらう事が必要ではないでしょうか。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>人口減少・少子高齢化が進むなか、私たちに、持続可能なかたちで西条市を次世代に繋いでいく責任があります。そのため、市民のみなさんに広く公共施設の状況や情報を「共有」し、思いや目指すところを「共感」し、公共施設の新しい形を共に創る「共創」を基本姿勢に、将来世代に過度の負担を残さないよう、引き続き、個々の施設に応じて、利用者をはじめ市民のみなさまに対して、丁寧に話し合いを進めてまいりますので、よろしく願い申し上げます。</p>
2	<p>簡易評価（維持継続、利用検討、更新検討、用途廃止）は、大変わかりやすくよかった。知らない施設も多かったが、旧西消防署など使われないままの施設が多くあるようだった。この際、大いに整理するとよいと感じた。</p> <p>（大変な作業だったと思います。これからはもっと大変でしょうが、労に感謝します。）</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>市では公共施設の現状と課題に加えて、市の施設を俯瞰的に一定の基準（6項目12指標）に基づき評価し、対応方針をお示ししました。</p> <p>今後、個々の施設毎に利用者をはじめ市民のみなさまと、より良い施設の形を実現できるよう丁寧に話し合いを進めてまいりますので、よろしく願いいたします。</p>
3	<p>1 小学校施設活用度についてですが、総じてDと思っておかしくないくらい基準が低いのですがどの様な基準でしょうか。</p> <p>昨年度タウンミーティングでも、お話しさせて頂いた様にスポーツ少年団等で運動場や、体育館等使用しているはずなのですが教えてください。</p> <p>2 小学校でバス通学が行われている学校がありますが、経費削減の中、校区外まで迎えに行く等しなければいけないのでしょうか。通学形態の見直しをお願いしたいと思います。</p> <p>3 給食センター化で以前質問をしたのですが、これの一環とは違うと説明されましたが、この案の中で、給食センター化も入っているのですが、下記内容と老朽化によりセンター化されるという認識でまちがっていないでしょうか。</p> <p>人口減少による市税収入の減少、高齢化社会の進展に伴う扶助費等の義務的経費の増大などにより厳しい財政状況が見込まれる中、公共施設の更新費用をいかに適</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>1 簡易評価は、100%の精度ではないものの短時間で効率的に全施設を俯瞰して評価できる手法です。施設活用度については児童数と通常の学校教育の実施日数等に基づき評価しており、スポーツ少年団等の学校施設の開放に伴う利用者数は加味されておりません。ご指摘のとおり、学校施設を学校教育以外の利用や地域住民の利用により活用度が向上するため、実態に即して精度を高める必要性につきましては認識しており、今後の改善課題とさせていただきます。</p> <p>2 現在、市内小中学校では、校区内の山間部から学校最寄り停留所までの路線バスを利用したバス通学に対し、バス料金相当額の助成を行っています。校区外通学に対するバス補助は行っていないので、ご理解ください。</p>

正な水準に抑えていくかが喫緊の課題となっています。

又そうであるならば、確かな説明をするべきだと思います。

4 公共建築物の床面積の事等は書かれています。それに伴う人件費や経費の数字が出てきてないように思いますがその辺りをもう少し詳しく丁寧に説明して頂きたい。

又、市の人口に対する職員数がどうなのかという点も明確に数値化して頂きたい。

3 人口減少や少子高齢化に伴う更新費用の抑制は公共施設全般に関わるものですが、加えて、給食センター特有の要因として、次のような理由により自校方式の継続が困難となっております。①建替用地の確保が困難（新基準対応には1.5～2倍程度が必要）、②全ての整備に長時間を要する（20年以上を要する）、③児童生徒数が大幅に減少する（今後25年間に約3,000名減少）、④整備費が多額となる、以上の要因がございます。

4 施設の管理運営費（光熱水費や人件費等）は、運用費用度の項目で評価の対象となっております。また正規職員数等については、次のとおりです。

	H17年度	R2年度
職員数	1,378人	973人
人口	116,259人	108,654人

以上、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

4

1 丹原文化会館の利用方法について
(1)同所における駐車場を地域イベント（野外を利用した催し物等）に利用を検討してください。公民館等を利用した盆踊りや文化祭ではコロナ禍においての実施ができない為に広い活用方法として検討をお願いします。

(2)自治会館としての利用。田野地区及び丹原町全体において、自治会館を所有し、管理している地域が無い為に、全体での動きが不明瞭であるので、自治会館としての役目を加えるのも検討してください。

2 施設への移動の再検討
バリアフリーを言いながら、施設への移動等は車利用者には便利であるが、車のない者に対しては不便となっている箇所があるので、再検討をお願いいたします。

ご意見ありがとうございます。

1 (1) 野外での利用について、せせらぎ広場を既定の利用料で、ご利用いただくことが可能です。なお、駐車場を含め各施設のご利用の詳細については、施設運営を委託しております指定管理業者へご相談いただけましたら幸いです。

(2) 本施設の設置目的は、市民の芸術文化の創造と振興を図るためとされており、文化会館内の特定の施設に対し自治会館としての役割を持たせることは、現在のところ想定されておりませんので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

2 施設への移動手段につきまして、市では市内に住所を有する75歳以上の高齢者が市内を運行する路線バスを安価で利用できる「高齢者路線バス利用助成事業（いきいきバス）」や75歳以上で市民税非課税世帯の在宅高齢者に対する「高齢者タクシー利用助成事業」を実施しています。また、加茂地区及び丹原地域では予約制乗り合いタクシー「よりそいタクシー」の運行を行っています。今後も高齢者をはじめ交通弱者と言われる方々へのサービス向上と利用促進に努めてまいりますので、ご理解賜り

<p>5</p>	<p>1 K P I が低い。 40年後を考えた場合、人口は20%少なくなっているため、36%削減を目標値にすべきです(20%削減では不十分と考えます)。[36%=20%+80%×20%]</p> <p>2 削減方法 (1)公民館、学校の統廃合もしくは公民館と学校の統合 小学校では、使用していない教室もあるのでそこを公民館活動として使用する(音楽室、理科室等は、一日の半分くらいの稼働率だし図書室は、休憩時間以外、利用可能と考える)。 セキュリティ問題をクリアするために、マイナンバーカード等を利用したセキュリティーカードで入室管理すればよい。また、小学校と公民館を統合することにより、職員削減も可能である。 (2)ITを活用した公共施設削減と支出削減 在宅勤務やSkype¹会議を活用することで市庁舎の床面積を削減できるので、余った部屋を民間に貸し出して市の収入とすればよい。 資料も紙での郵送は廃止しメールにすることで郵便代、紙代、人件費削減になる。 住民票取得、婚姻届、出生届等もホームページから申請できるようにすれば窓口業務の効率化になる。 公共施設の予約をOUTLOOK²等にするので、業務を効率化して、人件費を削減できる。 市への問い合わせをホームページ上のBot³で対応できるようにする。 小中学校で使用し始めた”マチコミ”⁴等を徹底的に活用する。 今のやり方では必要かもしれない公共施設も40年後の視点で不要なものを洗い出すべき。この洗い出し作業は、40年後も元気で西条に住んでいる自信があるメンバーが望ましい。</p>	<p>ますようお願い申し上げます。</p> <p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>1 20%の削減目標は、将来の公共施設整備に係る財政負担を現在と同程度に抑制することを目指して設定しております。しかし、人口減少により一人当たりの負担は増加することが見込まれ、ご指摘のとおり、十分ではないとの考えもございます。今後、定期的に進捗を把握し、人口や財政状況等、社会情勢の変化に応じて、数値目標を見直す可能性がございますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>2(1)削減方法について、ご提案をありがとうございます。人口減少社会を見据え、持続可能な西条市を次世代に引き継いでいくには、従来の縦割り、単機能に象徴される拡充型の公共施設の在り方から、複合、多機能に象徴される縮充型の在り方へ転換を図る必要があります。学校施設について、児童数の推移、余裕教室の状況等、諸条件はありますが、学校施設を地域の子どもたちが教育を受ける場所だけに限定せず、公民館活動等、地域住民も利用でき、日常的に顔を合わせることで、地域で子どもを見守り、人と人が繋がり交流が生まれ、地域社会を豊かにできる可能性があります。同時に、セキュリティについても重要な課題であると認識しております。</p> <p>(2)ITの活用について、市では、体育施設予約システムの運用、ペーパーレス化の推進、職員のテレワークの試行等に取り組むと共に、住民票等のコンビニエンスストア等での交付に向けた準備も進めております。今後、ご提案のような方法を含め、さまざまな手法が出てこようかと思いますが、これからも社会情勢や技術動向をフォローアップしてまいりますとともに、ITの活用が困難な方へも配慮してまいります。また、現在と将来、両方の視点から見て望ましい公共</p>
----------	---	---

¹ マイクロソフトが提供するクロスプラットフォーム対応のコミュニケーションツール。Skype間の無料音声・チャット・ビデオ通話機能を備える。

² マイクロソフトの個人情報管理ソフトウェアである。電子メール機能の他、予定表・連絡先管理・仕事管理・メモなどの機能が実装されている。

³ robot(ロボット)の短縮形・略称で、転じてコンピュータやインターネット関連の自動化プログラムの一種のこと。

⁴ 学校行事の連絡、お休みの連絡(出欠連絡)、イベント出欠確認がメールやアプリで簡単にできる無料の連絡網サービス。

	<p>(3)施設の低価格化</p> <p>(その前に)給食センター方式にした場合の設備費87億円について、最初一桁間違えたのかと思いました。松山の場合、この半額で作ったと思います。消防団施設ですが、今治市は簡素な建物で、低価格で公共施設を作っています。特に長年使う公共施設は価格にこだわって作っていただきたい。</p>	<p>施設の在り方を検討してまいります。</p> <p>(3) 施設整備費の抑制について、近年、性能発注やPFI等、新たな官民連携の手法も出てきております。今後とも、最小の経費で最大の効果を挙げられるよう効率的な施設整備に努めてまいります。</p> <p>以上、ご理解賜りますようお願いいたします。</p>
<p>6</p>	<p>いつもお世話になっております。</p> <p>今後40年で20%削減という計画案、拝見させていただきました。やはり、大きな施設、建物から検討するのはどうかと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公営住宅一年々の人口減少に伴い、10年後、20年後には不用になる施設も出てくる可能性があり、特に規模の大きい団地などは縮小させる等していく。 ・総合支所（東予、丹原、小松）の縮小一住民票や戸籍等の各証明書や死亡届等、各種の手続きは、公民館でできるようにして、支所の規模を縮小させていく。他の課は市役所に集約するか、各地域の拠点となる公民館や交流センター等に併設するのはどうか。 <p>高齢化が進んでいるなか、いろいろな手続きが公民館でできれば公民館の利用率も上がり、車に乗れないお年寄りも助かると思います。そのうえでも各地区公民館は維持してほしいです。私の住んでいる徳田地区の徳田公民館が利用検討になっていますが、是非残していただきたいと思ひます。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>ご指摘のとおり、市が保有する公共施設のうち、多くは学校施設と公営住宅が占めており、対策による効果が大きいと言えます。市では、学校施設長寿命化計画に基づき校舎の長寿命化改修を計画的に行い、財政負担の軽減・平準化を図っております。また公営住宅については、公営住宅等長寿命化計画に基づき、入居者数の減少を踏まえ、老朽化する住宅の廃止や統合建替えを進めるとともに、これからも維持していく住宅は長寿命化改修を行っています。</p> <p>総合支所については、令和4年度から東予総合支所を（仮称）西部支所とし、丹原・小松総合支所は、（仮称）丹原・小松サービスセンターとし、一部業務を縮小する予定としております。合わせて、市民サービスの低下を招かないよう市民の利便性向上策として、住民票等のコンビニエンスストア等での交付に向けて準備を進めております。</p> <p>なお徳田公民館は簡易評価の結果が利用検討となっておりますが、令和8年度までの第1期における対応方針は、「現状維持」となっております。わかりやすく表記を改めさせていただきますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。</p>
<p>7</p>	<p>徳田公民館の簡易評価について、疑問を感じましたので、お伝えします。</p> <p>現在の徳田公民館活動では小学校2校（徳田、田滝）及び西山幼稚園と7自治会の活動支援、福祉協議、地域づくり等、多岐に渡って住民は支援を頂いています。その状況下で軽々に利用検討と評価している事。この判断に不信感を覚えています。6項目で評価されている様ですが、同じ評</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>徳田公民館の簡易評価のうち利用検討となっている要因について、利用者の視点から、立地場所の人口密度とハザードマップ、洋式トイレ・エレベーター等の設置状況、単位面積当たりの利用者数、開館日数等の情報から機械的に判定しております。また、同じABC評価でも施設毎の評価点（数値）が異なること</p>

	<p>価とされている公民館がありながら良くないと考えている理由が全く解りません。教えていただきたく思います。年間の活動において、市役所、小学校、幼稚園、自治会、地域の各種団体と連携しながら、文化祭、地域ぐるみ運動会、敬老会等々、又、情報の共有・コミュニケーション円滑な地域であり続ける為には必要なところと私は思っています。</p>	<p>から簡易評価の結果が異なる場合があります。そのため、簡易評価のみで対応方針を決めるのではなく、問題のある可能性が高い施設を抽出する参考資料として取り扱っています。</p> <p>ご指摘のとおり、徳田公民館は地域活動の拠点、世代間交流の場として、令和8年度までの第1期における対応方針は「現状維持」となっております。わかりやすく表記を改めさせていただきますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。</p>
<p>8</p>	<p>平成の大合併により、西条市の公共施設が莫大に増えたことに、まずは驚嘆しました。また、それらの施設の老朽化による、管理、維持、更新することの厳しさも感じ取ることができました。評価し、ランキングすることは大変な作業だったと思われれます。</p> <p>公共施設は常に適正な配置とそこに住んでいる地域住民を結ぶ場としての役割があり、特に公民館は人と人をつなぐ細やかなコミュニティ機能を有しています。地域の人々が歩いて行ける距離、1小学校区、1公民館が望ましいです。私が住んでいる徳田公民館も異年齢、異世代の交流の場を多く取り入れ地域の教育力の推進として地域を支えています。多世代がつながることさまざまな文化活動や福祉活動ができ、地域の人々の心の拠り所となっています。今、徳田公民館は2つの小学校区、2つの地区（徳田と田滝）を合わせ持ち両方の行事に公民館の方々は頑張っておられます。私も今、民生委員として活動していますが、公民館の方々の温かい支援を受けています。この公民館が将来なくなるとしたら（利用検討の評価より）、公民館的な機能を有すると判断される施設はどこになるのでしょうか。教えていただきたいと思えます。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>本市は合併により同規模団体に比べ、保有する公共施設の数が増え、老朽化も進んでいます。人口減少・少子高齢化が進むなか、私たちには、持続可能なカタチで西条市を次世代に繋いでいく責任があります。本計画案は、そのような現状、取組への思いや目指すところを共有・共感できることを目的にお示しいたしました。</p> <p>個々の公共施設の検討に際しては、全市的な施設と校区内の身近な施設を切り分けて考え、全市的な施設については、更新にあわせて重複する施設は集約化・複合化を検討し、校区内の身近な施設は従来の単独施設から複合化・多機能化を検討し、多世代で、多目的に利用できるように検討してまいりたいと考えております。</p> <p>徳田公民館についても、この多世代で、多目的に利用できる身近な施設として、令和8年度までの第1期における対応方針は「現状維持」となっております。わかりやすく表記を改めさせていただきますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。</p>
<p>9</p>	<p>徳田公民館－利用検討について</p> <p>簡易評価では、数値が丹原地区の他館と同じであるが利用検討となっている。中川公民館と同年度に建設されているので、資料のみでは理解できないので、説明が必要です。資料の中で、利用検討は施設状態が悪くないが利用状況が良くないとなって</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>簡易評価では、管理者の視点からの建築年数、施設の管理運営費等だけでなく、利用者の視点として、立地場所の人口密度、洋式トイレやスロープ設置等のバリアフリー化の整備状況、単位面積当たりの利用者数等で評価されております。</p>

	<p>いますが、他館と比べ悪いのでしょうか、サークルの数が少ないのでサークル活動では少ないと思っていますが、利用者数では人口1,350人の地区としては少なくないと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>タウンミーティングの時、公民館の話が出なかったのは、1校区1館の重要な施設であるため、検討外のことと考えておりました。</p>	<p>す。ご指摘のとおり、地区内人口に占める利用者の割合で測る考えもごさいますが、簡易評価はそのような仕様ではごさいません。</p> <p>なお、簡易評価のみで対応方針を決めるものではなく、問題のある可能性が高い施設を抽出する参考資料として取り扱っており、徳田公民館は地域活動の拠点、世代間交流の場として、令和8年度までの第1期における対応方針は「現状維持」となっております。わかりやすく表記を改めさせていただきますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。</p>
<p>10</p>	<p>タウンミーティングに参加させていただきましたが、自治会の長や施設の長の年齢の高い方中心の意見交換でした。この時にお願いいたしました、小学生まで含めた施設に関しての意見を聞いて進めたいとお願いいたしました、そのようには進んでいないように思われます。また、施設に対しての重要性は、地区によって同じ小学校、公民館に対しても変わってくると思われるので、西条市全体として施設の重要度のアンケート、また、地区(校区)内に置いての施設の重要度のアンケートにて順位をつけ施設の統廃合を行うべきではないかとお願いいたしました、検討をしていただきましたか。</p> <p>地区によっては、地域の方が集まる施設が、公民館か、小学校しかない地区が何か所かあると思います。市内中心地の地区は、公共の施設(文化会館、図書館、児童館、体育館等)の公民館に代わる施設が地区内に何か所もあります。地区によって、必ず安全かつ機能的な施設が重要で、必要です。施設も、高齢者、子育て世代、子ども等により、施設の重要性が違ってくると思われます。西条市内の施設の配置によって、世代間のすみわけが進む形を取っていくのか、各地区平均的に各世代が住んでいける街づくりをしていくのか施設整理の前に西条市のビジョンが必要だと思えます。</p> <p>地区によっては高齢化が進み自治会の運営も難しくなってきたる所もたくさんあると聞きます。公共の基幹施設の機能強化が急務だと思われます。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>今回、個別施設計画案の策定にあたり、市では市民のみなさまの意見聴取に努めてまいりました。若い世代の意見聴取の観点からは、市民アンケートと同時に市内5高校の高校生を対象としたアンケートを実施しました。また、将来の公共施設を考えるワークショップにおいて、高校生の参加を募るとともに、これから生まれて来る市民の視点や利益を踏まえて公共施設を考えるフューチャーデザインの手法を採り入れるなど新たな試みを実施したところです。</p> <p>このような取組を踏まえ、市では保有する公共施設のうち、全市的な公共施設については更新にあわせて、集約化・複合化を検討する。地区内にある身近な公共施設は、維持すべき必要な機能であり、複合化・多機能化により多世代・多目的にみんなが使える施設に再編し、建築物は縮減するものの、機能やサービスは維持・向上する『縮充』の発想をもって公共施設の再編を検討していくこととしております。昨年度、11地区のタウンミーティングにおいて、129人の市民の方々と公共施設の在り方について、意見交換を行ってきました。その中では、「公共施設がこんなにたくさんあることを知らなかった」、「施設削減への取組は必要である」、「受益者に配慮し、丁寧に進めるべきだ」等、様々なご意見をいただきましたが、進むべき方向性については、総じて賛同を得ているものと認識しており、改めて市民のみなさんと</p>

また、西条市は移住者の受け入れを積極的に行っているところではありますが、移住者を受け入れた山間の地区には公共の施設が老朽化で、改修、改築の予定もないというのは、行政がちぐはぐではないでしょうか。定着していただくためにも、地区内の施設は必要だと思われま

す。維持費用、建て替え費用削減は必要です。費用の削減は、施設の統合や廃止だけではないと思います。今までのように施設を建てたり改築すればそれで終わりではなく、施設の管理、維持を統合的に継続して専門の担当者を置いて管理すべきです。予算の関係があるのですが、民間に比べて、施設の老朽化、傷み方がとても速いと感じます。専門職員が一元的に責任をもって行うべきだと思います。現在は、各施設の施設長が責任を持っているのですが、大規模の修繕等は、手続き、予算化等大変なことが多いので、自分の任期中に行わないということが多くなり、後回しにされ施設の傷みが大きくなるのではないのでしょうか。施設管理の部署は今もあるのですが、担当部所単位になっているため、うまく機能してない部分と、また、市長様、市議員様の要望がどうしても優先されるので、順当な機能が阻害されている部分も大きいのではないのでしょうか。現実には、自治会等の要望、自治会長が何度も要望しても進まないことが、市議員様を通すと対応が違ったりということが多いと思います。しかし、優先順位は単一的に客観的、科学的、経済的等誰もが納得できる形にて管理維持をしていくことが、経費削減につながると思います。まずは、管理維持に十分な人材を育てることをお願いします。経費の削減につながると思います。

また、施設についてですが、すべての施設の単価が高すぎるのではないのでしょうか。新規に建てられることも今からあるのですが、機能、構造的に維持管理費の安い構造で、建築費の安い工法を選択すべきだと思います。公民館も木造平屋でもかまわないのではないのでしょうか。それと、各施設改築、新築をされると、設備はもちろんですが、備品まですべて新しくなるのはどうしてでしょうか。今から建て替え等

の対話が重要であると考えています。ご指摘のとおり、地区によって、公共施設の配置や利用形態が異なります。今後、個別の施設毎に在り方を検討していくこととなりますが、「共有」、「共感」、「共創」のプロセスを基本とし、個々の施設に応じて、利用者や地域の方々等との話し合いを丁寧に進めてまいります。

維持費について、財政負担の軽減・平準化は、ご指摘のとおり、施設の統廃合のみが解決策ではありません。今ある施設を長持ちさせる長寿命化改修や維持管理までも含めたトータルコストの削減も有効な手段です。市では、「①施設の再編による施設保有量の縮減」に加えて、「②計画保全による施設の長寿命化」、「③保有形態の見直しによる効率的な管理運営」の3つを公共施設マネジメントの基本方針としております。②長寿命化への取組としては、学校校舎や市営住宅等を中心に、既存施設を耐用年数以上に使用することができるよう長寿命化改修を計画的に実施するとともに、③効率的な管理運営については、施設の管理運営の効率化やサービス向上を図るため民間事業者を活用した指定管理者制度の導入を進めています。また、建築基準法に基づく建物点検や修繕の実施につきましては、営繕部門の担当職員により一元的に行うとともに全庁的な優先度の判断と予算化の調整に努めています。

「各世代協力ができる街づくりを進めていきたいと思います」とのご意見、ありがとうございます。公共建築物の寿命はおおよそ50年です。一旦造ってしまったものは長期間に渡り影響を与え続けます。造った当時の人だけが良くて、後世の人の重荷になっては困ります。10年後、20年後、30年後の西条市を考えるには、現在の視点・利益と将来の視点・利益を考慮し、意思決定を行うフューチャーデザインが参考になります。公共施設に限らず、まちづくり全般において、人口減少が進む中、将来世代(子どもや孫世代)に過度な負担を残さないようフューチャーデザインの視点をもって持続可能なまちづくりを考えてまいります

をせず、建物延命化にて進めていくとありますが、備品はどのようになるのでしょうか。公民館を例に挙げれば、新しく建て替えたところは、設備も新しく、使い勝手も良く、机、いすに至るまで軽くて使いやすい新しいものとなっておりますが、古いところは、すべてが古く、使いにくいということがあります。費用を抑えるために建て替えを凍結するのであれば、不満が出ない十分な施策があると思いますが、そここのところも示されていません。

文化会館、図書館、福祉会館等日常のランニングコストも多くかかる構造であると思いますが、今から新しく建てる建物は、ランニングコストも抑えられる構造にすべきです。もう1点、施設の偏りを強く感じます。各施設が近くにあれば、その施設の使用頻度も増えるでしょうが、遠い地区の方は、その施設に行くことも難しいでしょう。特に高齢者、小学生は移動手段がありません。施設統合をするのであれば、使用者は施設費用を負担する形が妥当でしょうし、だれもが市内の施設を十分に活用できるように、低料金の輸送手段(施設循環のループバス等)が必要になるのでしょうか。

その他に、これからの西条市の在り方が問われていく問題ではありますが、すべての世代を巻き込んでの問題とはなってないように感じます。削減ばかりが前面に出て未来がある話になっていません。これは、行政と、大人だけ、また、高齢者中心に話が進んでいるところにあるのではないのでしょうか。小学生、中学生、高校生の意見も十分に取り入れて、西条市が、10年後、20年後、30年後魅力のあるところであるためにはどうあるべきかをもう少し話し合うべきだと思います。各世代協力ができる街づくりを進めていきましょう。

最後に、施設統合の最後は、小学校等の統合に進んでいくことだと思います。統合の悪い点、良い点どちらもあります。しかし、統合は避けられないことだと思います。この現在の計画では、触れられていませんが、考えていかなければいけない時期になっているのだと思います。ICTの教育システムが先進的に導入されておりますが、

ので、ご協力くださいますと幸いです。

最後に、学校統廃合について、小学校を地域づくりの拠点として残していくという方針をお示ししてはいますが、保護者、教員等のアンケート調査からは多様な意見を頂戴しており、子どもたちにとって、将来に向けてどのような教育環境が最適なのか議論を行う必要があるのではないかと考えております。

以上、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

【市民アンケート】

市民アンケートでは、18歳以上の市民に加え、市内5高校の高校生を対象に調査し、公共施設の利用状況と今後の施設の在り方について、市民の意識・意見の把握を行いました。その結果、市民においては、図書館、公民館がよく利用され、高校生においては、図書館、スポーツ施設がよく利用されていることがわかりました。また、世代を超えて、施設の老朽化が問題視されていること、優先順位をつけて削減に取り組む必要性を感じていること等が把握できました。

【フューチャーデザイン】

フューチャーデザインは、持続可能な自然と社会を将来世代に引き継ぐため、将来世代の視点や利益を踏まえた意思決定を行う手法として注目されており、その特徴は、仮想将来世代の創出にあり、人は自己の利益に従うだけでなく、規範的価値に従った意思決定も行うという「将来可能性」を誘引することにあります。本市では、将来世代の視点や利益から公共施設の在り方を考えるフューチャーデザインを採り入れた市民ワークショップを、高校生から70歳代の市民のみなさんに参加していただき、実施しました。現在世代で考えると、公共施設が多く老朽化が進んでいるという現在の問題点から議論がスタートし、施設削減や維持費の削減、また削減するうえで、どのような観点から進めるべきかといった内容で議論が進められました。一方、将来世代では、図書館が本を読む場所ではなく人と交流する場所になり、市役所の行政サービスがオンライン化

<p>十分に活用されているとは思えません。このシステムを十分に活用し、学校の統合についても子供たち中心にて話し合いが進んで行くことを希望いたします。</p>	<p>され役所自体が半分になるなど、従来の公共施設の在り方を覆し、新たなかたちを想像するような議論に発展していきました。</p>
--	--